

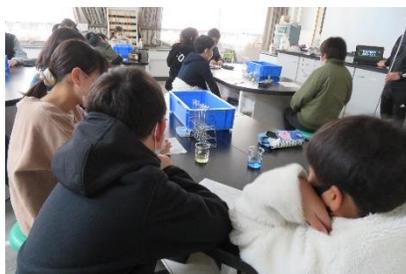
2022 FUSE 中学校区 小中一貫教育 NEWS vol. 10 (2.15)

< 1月18日(金) 2月3日(金) 小6中学校登校実施しました >

3学期は2回実施しました。荒川小2クラス、布施小2クラスを3等分して、ミックスクラスで1日を過ごしました。始めは緊張している様子でしたが、だんだんほぐれてきて、わきあいあいと楽しそうに、**ともに学ぶ姿**が見られました。



自己紹介ワーキング(すごろく)



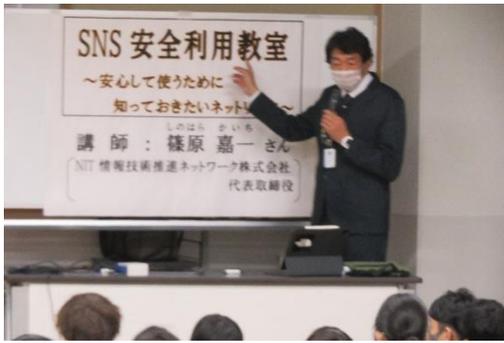
中学校の先生の授業(英語・国語・社会・理科・算数)



昼休みでも、素敵なつながりがうまれました



BIG英語村で、英語を通じて仲間づくり



SNS安全利用教室と、中学校生活ガイダンス

ご家庭におかれましては、1年間、たった8回とはいえながらも、**小6中学校登校へのご理解ご協力をいただき、本当にありがとうございました。**

さて、子どもたちは、8回の中学校登校を経て、中学校入学に対する不安は軽減されたでしょうか。次号には、**5月と2月のアンケート結果と、気合いっぱいの(?)「～な中学生になる！」の中学校入学への意気込み**も見てもらえたらと思います。

<布施小学校 竹中校長先生より>

早いもので、今年度の小学6年生が布施中学校に行かせていただく「中学校登校」が終わりました。第一回の頃には緊張した表情だった子どもたちも、4月からともに学ぶ「仲間たち」との出会いや中学校のいろいろな教室で学ぶ中で、少しずつ和らいだ表情へと変わっていきました。これも中学校の先生方が多忙な中、ご準備をしていただいた賜物です。感謝を伝えるとともに、進学する子どもたちへのご指導を引き続きお願いいたします。

さて、今年度は学校が保護者の皆様方と「子どもを中心」にしてつながり、「**大人たちの OneTeam**」として前進できた一年になったと感じています。その一つは、地域教育協議会を核として実施した「FUSE CLEAN FESTIVAL」であり、**子どもたちが成長する「私たちのまち」を大切に作る活動**ができたことが挙げられます。参加した子どもたちにとっては、**日々の学習を身近な日常にどのように活かすことができるのか**を考え、**身近な大人の姿から学ぶ体験活動**になったことでしょう。

「身近な」という言葉は、ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）が提唱する持続可能な開発のための教育（ESD：Education for Sustainable Development）や、東大阪市のすべての小中学校で実施している「夢TRY科」で学習する、「**think globally, act locally(身近なところから取り組む)**」を意味しています。今後の持続可能な地域社会の創り手を育む取組みを、布施中学校ブロックが保護者・地域の皆様方とともに、進み始めたことはとても有意義であると考えています。**次年度も皆様方と心をつなげて、さらなる前進をめざし取り組むことができるよう、ご協力をお願いいたします。**



チームFUSEで、子どもたちを信じ、夢の実現を応援しましょう！

アンケート



HP

